

JR駅無人化に反対する署名の呼びかけ

だれもが利用できる公共交通としての鉄道が大きく変えられようとしています。これまで公共交通を中心的に担ってきたJR九州が、大分市で一挙に駅員を減らして駅を無人化しようとしているのです。すでに、1駅が無人化され、大幅に減便が行われました。

障がいのある人からは、「駅員さんがいなくなると安心して乗れなくなる」「予約をしないと乗れないのは差別」、地域の人は「高齢者が利用しにくくなる」「地域がさびれる」等と強い反対の声が上がっています。しかしJR九州は、一部を延期したものの、無人化と減便を進める姿勢をまったく変えていません。また、「スマートサポートステーション(S.S.S.)の導入により、駅員がいる現状より安全になる」などと説明していますが、一人が10駅のテレビカメラを監視して係員を派遣するというのですから間に合わないことが多くなるでしょう。とても責任ある対応とは言えません。

驚くことに、県内JR85駅中55駅が既に無人化されています。このまま見過ごしてしまうと、大分市だけでなく大分県内全域に無人化や廃駅が進み、それは九州全域にも及ぶこととなります。地域の交通を守るためには、残された数少ない有人駅である大分市内の駅無人化を食い止めなければなりません。

JR(日本旅客鉄道)はもともと国有鉄道(国鉄)でした。国の財産を受け継いで、駅に商業施設をつくり、様々な事業を運営することによってJRは利益を上げています。公共交通である鉄道を「赤字」を理由に切り捨てていくことはできない立場の企業であるはずです。私たちは、公共性を失いかけているJR九州に対して、しっかり声を上げたいと思います。

このため、障がいのある人や地域の人の声を広く多く集めるための署名活動を開始することにしました。署名活動を通して、JR九州に対して以下のことを求めます。

皆様のご協力をお願いいたします。

1. 駅の無人化の方針を撤回すること。
2. 減便の方針を見直すとともに、新たな減便等については地元自治体・議会・自治会・住民の了解なしに行わないこと。
3. 障がい者をはじめ様々な住民のJR九州に対する意見を受けとめ、誠実に回答し、意見交換の場を設けること。

誰もが安心して暮らせる大分県をつくる会
障害者の生活と権利を守る大分県連絡協議会
大分県障がいフォーラム実行委員会

連絡先

在宅障害者支援ネットワーク

大分市都町2丁目7-4-303

電話 097-513-2313 FAX097-529-7212

メール zaitaku@elf.coara.or.jp